

Vine

Vol. 5

山梨大学学園誌「ヴァイン」第5号

わたしが主役

contents

- 大学祭** ~その栄光の軌跡~
玉穂キャンパス 2
甲府キャンパス 4
大学周辺の気になるお店 6
突撃インタビュー!! 7
サークル紹介 8
Information 10
ヴァインの泉 12

MARCH 2005

大学祭

～その栄光

1981年から2001年まで21回開催された旧山梨医科大学の大学祭“医大祭”は、2002年の大学統合に伴い“医学祭”と名前を変え、新たに発足しました。この特集では、大学創設当時の医大祭の様子と、2004年度に玉穂キャンパスで開催された第3回医学祭の様子をレポートします。

創設期の医大祭

設立当時の医大祭について、1期生の山縣然太郎教授に伺いました。

はじめての医大祭でいろいろ大変だったと思いますが、いかがでしたか？

そうですね、先輩もいないしゼロからのスタートだったから大変でした。たとえば、飲食関係で保健所に届けなきゃいけない。ノウハウが何も蓄積されていなくて、看護短大や英和短大の方に手伝っていただきました。当時、大学設立2年目で、東医体に初参加したり自治会(現学生会)準備会が発足したりと、1期生みんなががんばっていたという感じでした。

意気込みも大分あったわけですか？

どうでしょう(笑)。ただ、1期生ということで、大学をみんなで創っていくんだという使命感はあったと思います。それに大学祭は、地域の方々に自分たちの存在を認知してもらう手段でもあったわけで、まあそのついでに楽しみたいというのもありましたけどね。特に県短や英和の皆さんとお話しは、とても楽しいものでした(笑)。

なるほど(笑)。では一番大変だったのは？

今と違って山梨医大は認知度が低かったので、まずは医大の存在を知ってもらう必要がありました。そのため広報活動にはかなり力を入れ、甲府駅前までビラ配りもしました。ポスターも2種類用意して、片方は医大周辺の地図をメインにしました。パソコンもワープロもない時代でしたから、パンフレット作りには苦労しました。

広報活動の成果はいかがでした？

第1回医大祭の当日は天気も良く、そこそこ人が集まったと思います。テレビ局の取材が来ていて生出演しました(笑)。第2回にはさらに多くの方に訪れていただきました。それに小中高の生徒さんたちも来てくれて、結構にぎわいました。

当時は体育館にステージを設置していたそうですね。第2回はジュシーフルーツのコンサートだったようですが、予算は大丈夫でしたか？

予算は100万円くらいかかったと思います。第2回、第3回は有料チケット制だったんですが、やはりチケットの捌きが難しいということで、第4回からはやめてしまっています。それ以後は新人アイドルで予算を節約しています。

医学関連の企画はありましたか？

まだ医療系のサークルが少ない時代で、そういった企画は実行委員会が直接行っていました。第4回から東洋医学研究会などによる

医学展になっています。こちらのほうもそれなりの反響があったみたいですね。

主催者側としては成功だったわけですね。

そうですね。細かい問題点はいくつかありましたがね。たとえば、学長だった高安久雄先生に記念講演をお願いしたんですが、パンフレットでの紹介は恐ろしく小さな扱いで失礼なことをしてしまいました(笑)。

今の学生たちに対して何かアドバイスがあればお願いします。

こういったイベントを成功させるためにはテーマをきちんと決めて、それに沿って動いていくということが大切です。そして、ポリシーを持ってやること。学生が主体性を持ってやるということが重要ですので、失敗は恐れずに、一生懸命やってください。それと、学生が思っている以上に、大学は地域に対して影響力を持っているので、そのことを自覚していただきたいですね。地元との繋がりは大切ですので、地域貢献のことも少しは考えてみてください。それと、私は同窓会長もやっているんで、金銭面だけでなく人的な支援も惜しみませんので、何かありましたら声を掛けてください。

本日はありがとうございました。

山縣然太郎教授：

第1回医大祭実行委員会企画局長、第2回医大祭実行委員会委員長。1期生随一のダメ学生だったが、人生の5回裏に逆転満塁ホームランをかつ飛ばし、保健学第 講座(現社会医学講座)教授となる。



これまでに招いた大学祭ゲスト

玉穂キャンパス

第3回医学祭(2004)	電撃ネットワーク
第2回	江頭2:50
第1回	浅草キッド
第21回医大祭(2001)	鉄拳
第20回	エスパー伊東
第19回	松田純
第18回	オセロ
第17回	パイレーツ
第16回	ボカスカジャン
第15回	ヨネスケ
第14回	金谷ヒデユキ

甲府キャンパス

第2回梨甲祭(2004)	HIGHWAY61、ベナルティ、COW COW、タカアンドトシ
第1回	Toshi、ハリガネロック、カラテカ
第51回梨大祭(2002)	神山さやか、ダイノジ、ニブンノゴ
第50回	キタキマユ、千原兄弟
第49回	松田純、さかもとせいちゃん
第48回	いつもここから、FLID FLAD
第47回	deeps、フォークダンスDE成子坂
第46回	篠原涼子、松本ハウス、大槻義彦
第45回	加藤紀子、デンジャラス
第44回	鈴木蘭々、渡嘉敷勝男
第43回	パカルディ(現 さまぁ〜ず)、極楽とんぼ

の軌跡 ~

玉穂キャンパス編

2004の医学祭

実行委員 への インタビュー

大学祭を運営した**医学祭実行委員**の方にお話をうかがいました。

(広報:看護学科2年山本彩加さん談)
今回の医学祭で特に力を入れたことは?

今回いくつかの変更がありました。まず、模擬店や展示の設置場所を職員駐車場に移動しました。植木があるため人の流れがうまくいかどうか心配でしたが、目立った問題はありませんでした。また、従来2階に設けていた展示スペースを、全て1階に変更し、入り口にはスロープを設けました。車椅子の方やお年寄りの方にも安心して来ていただけるようになったと思います。また、今回は広報活動を頑張りました。例年はパンフレットとポスターだけだったんですが、それに加えてチラシを何千部も刷って、近くの小中高の生徒さんに配りました。その甲斐あって来場者数が増えたみたいです。

苦労したことはありますか?

今回からアンケートに基づいて芸能人を決めることになったのですが、1位の方には断られてしまい、担当のアイドル局員は苦労したようです。

今後に向けて一言お願いします。

大学統合を機に医大祭から医学祭に生まれ変わって、今後はますます梨甲祭と連携していくことになると思います。今はまだ情報交換くらいしかしていませんが、相互に展示を行うことも含めて検討していく予定です。それから同日開催の話もあったのですが、アンケートを見ると皆さん別日を希望していますので、次回も別日開催になる見込みです。

どうもありがとうございました。

学術展示 ~ 医学展

玉穂キャンパスでは、大学祭の核として「医学展」「看護展」が毎年行われています。今年の医学展のテーマは「迫りくる、結核!」~危険信号を見逃さないで!~で学生サークルの海外医学交流研究会が企画しました。

過去の病気と思われがちな結核ですが、実は日本でも毎年結核にかかる人があり、その数は増加する傾向にあります。結核は患者の咳やくしゃみに含まれる結核菌を吸い込むことで感染します。最

初は咳や微熱が続き、体がだるくなります。しかし、結核になってもしっかりと投薬治療をすれば治ります。

結核の最大の問題点は医療関係者を含めた私たちの関心の低さで、そのために診断が遅れて職場や学校で感染が蔓延してしまう恐れもあります。この展示発表により結核が過去の病気だという認識を改め、結核をもう一度見直すことができました。



模擬店 ~ 大学祭の華

2004年の医学祭で、私たちオーケストラ部はお好み焼き屋を出店しました。私たちは、毎年、中央卸売市場で食材を仕入れているのですが、今年はキャベツ・卵などの価格が高騰したため、低出費におさえようと交渉したり安いお店を探したりと大変でした。

学祭1日目は、あいにくの天気で、お店の前を通る人が少なく、OBや医学部生同士の売り買いが多かったと思います。お店の中では、生地を作る人、焼く人、トッピング係と手分けして作っていましたが、しだいに協力してスムーズに作れるようになりました。

2日目はとても良い天気、芸能人が来た効果もあり家族連れや学生が多く買いに来てくれて大忙しでした。4時半くらいに完売したのですが、その後も買いに来る人がいるほどの大盛況でした。

2004年の大学祭は、今までよりも外部の人が参加しやすいように工夫されていて、よくにぎわっていたと思います。私たちの模擬店は駐車場スペースに出店しましたが、以前の福利棟前でやるよりも大勢の人々と交流できたように感じます。準備は大変でしたが、自分たちで作ったものを売るといった楽しい体験ができたと思います。(オーケストラ部:看護学科2年大竹美緒さん談)



大学祭

～ その栄光

大学祭とは



2002年10月、山梨大学と山梨医科大学の統合を期に、本校の大学祭も“梨大祭”から“梨甲祭”へと名前を変え、内容もよりレベルアップしました。2004年の梨甲祭は3日間開催され、初日には梨甲祭の始まりを告げる恒例行事の仮装行列が、そして、残りの2日間は、梨大メインステージ上ではパフォーマンスが行われ、その周囲では屋台、出店が軒を連ねていました。屋台では焼きそば等の定番メニューに加え、留学生有志による母国の料理を販売する屋台も並んでました。



バラエティーに富んだ衣装を身にまとった教育人間科学部の学生が町中を練り歩いて楽しませてくれる大学祭初日の仮装行列はもはや甲府の風物詩といっても良いでしょう。今でこそ仮装は色とりどり、参加者の個性を反映した

ものとなっていますが、初期の大学祭では時代を風刺した仮装が多かったそうです。

先に紹介したとおり、2004年の梨甲祭は3日間開催されていましたが、それ以前は大学祭開催期間が4日間であったことを皆さんはご存知だったでしょうか？実は4日目に駅伝大会が開かれていたのです。梨大のグラウンドを出発し、八幡神社、芙蓉寮前、護国神社を駆け抜け、スーパーむさしやの角で曲がり再び梨大グラウンドへ戻ってくるというルートでした。大学祭で開催されているとあって、第1回梨甲祭駅伝ではゴール時のパフォーマンスを採点した“終わりよければ全てよしで賞”なる変わった賞もあったようです。

大学祭は企画運営を取り仕切る実行委員や、実際に企画に参加している方たちの下準備があって成り立っています。次にそれぞれの仕事を担当した裏方さんの裏話を紹介します。

大学祭で働く裏方さんの裏話

大学祭 実行委員への インタビュー

昨年も非常に盛り上がった大学祭。そんな大学祭を企画し、運営に携わった大学祭実行委員企画部の方々にインタビューしました。



質問内容
企画を行う中で苦労したこと・大変だったこと
大学祭実行委員をしていてよかったこと
後輩へ一言 宮川さん 次回の大学祭への抱負(小川さん)

前企画部長 宮川さん、柴田くん

限られた時間の中で最大限にお客さんに楽しんでもらえる企画を考えること、毎夜遅くまで続く司会の練習、道具づくりといった準備などで、大学祭当日までとても忙しくて大変です。また、当日も分刻みのスケジュールで行動しなければならないので、大変ですが、充実しています。

これだけ大変な作業(活動)なので、とてもやりがいがあります。忙しい中で大学祭を共に作り上げてきた仲間を得ることができ、大学祭を無事にやり終えた時の達成感などは、実行委員をしていたからこそ経験できたものだと思います。これが大学祭実行委員の最大の魅力だと思います。

これまでの大学祭の伝統は守りつつも、自分達の力で新しい事を考え、それを実行してほしいです。そうすればより有意義な大学祭を行うことができるはず...!来年の大学祭を楽しみにしています。

企画部1年 小川さん

今回の大学祭で私は、子どものためのイベントを企画しました。一昨年のイベントの台本を参考にしながら何度も夜遅くまでリハーサルをしてとても大変でした。他の実行委員に実際に子ども役をやってもらったり、OBの先輩方に指導を受けたりもしました。これらをもとに改善していくわけですが、なかなかうまく行かず苦労しました。仕事を任されるので責任感がつきます。さらに企画の仕事の中でたくさんの人と関わる機会があり、自分では気づかないようなことを色々指摘してもらえたので得るものが大きかったです。人前に出ることで度胸もつくのではないかと思います。また、イベントに参加した子ども達が喜んでくれて良かったです。今度はステージに立つ側ではないので、その分新1年生が企画しやすいような環境を作って、しっかりサポートできるようにしたいですね。



ありがとうございました。普段聞くことができない大学祭実行委員の話でした。これからも楽しい企画よろしくをお願いします。

大学祭を取り仕切る実行委員の方々も大変ですが、実際に大学祭を盛り上げるイベントを企画する方々も並々ならぬご苦労があるようです。ここでは模擬店を出店したサークルと、附属施設の研究発表を紹介します。

模擬店参加グループ裏事情

大学祭で毎年出店される各団体による模擬店。大半は部活やサークル単位での参加ですが、研究室単位、教育人間科学部では専修単位での出店もあります。



模擬店の出店に際し、各団体は夏休み前に大学祭実行委員会に参加申し込みを行い、出店場所の申し込み、パンフレットに載せる店の紹介までを考えます。つまり、この段階で各模擬店は何を

出し物にするか決めておかなければならないのです。毎年同じ出し物の団体もあれば、変えてくる団体もありますが、後者であるA部の店長に話を聞きました。

A部では毎年、1年生と2年生が1人ずつ責任者となり、1年生が中心となって大学祭を盛り上げることになっています。過去には、焼きうどんや団子など一風変わったものを販売したこともありましたが、今回はオーソドックスに焼きそばを売ることが決まりました。また、模擬店にとっては店を開く場所も重要です。A部は昨年の大学祭で工学部側に店を構えていました。今回は教育側の噴水付近を狙うことにしました。出店している店が5つ程度で大学祭の外側にいる感じがした昨年度の反省からです。抽選の結果、希望していた場所をとることができました。昨年度の苦労を知っている2年生以上の部員は大変喜んだそうです。

夏休みが明けると、大学祭まで残すところ1ヶ月程度となります。それまでに最低でもテントを借りたり、道具の準備をしなければなりません。A部では11月5日に買い出しを兼ねて、焼きそばの試食会を行いました。5日は大学祭1日目ですが、仮装パレードのため、工学部の学生は時間があいているのです。A部ではこの日、焼きそばの麺を約160食分購入していました。

6日終了時点でA部は赤字でしたが、材料は残り少なかったため、1、2年生で手分けして買い出しに行きました。焼きそばの麺は予約をしていなかったためなかなか手に入らず、苦労したそうです。

7日は快晴で、場所もよかったため順調に売上げが伸びたそうです。赤字は見る見るうちに解消され、最終的には近年まれに見る高利益を上げることができました。

場所がよかったこと、OBを含めた部員が協力しあえたことが、

今年の模擬店の成功につながったのではないかと、店長は話してくれました。

研究施設 一般開放・ 研究発表

実行委員の呼びかけにより梨甲祭開催期間中、総合研究棟1階ロビーにおいて工学部各学科の研究内容がポスター展示の形で紹介されました。また、一部の大学附属施設では、ポスター発表と合わせて施設の一部を一般公開し、日頃行われている研究活動や実験に興味をお持ちの大学周辺の方々に好評だったようです。ここでは一風変わった研究紹介を行った工学部附属クリスタル科学研究センターの施設公開の様子をレポートします。



梨甲祭当日は、訪れた方々の前でトランジスタの作動実験や、蛍光材料で作製したマスコットの展示、超伝導材料を用いたリニアモーターカーの作動実験、電子顕微鏡による花粉の観察など、各研究室、各専攻の特色を活かした実験のデモンストレーションを行い、ポスター発表の説明だけでは分からない研究の楽しさやその背後にある科学的な根拠を体で感じ取り、その面白さに触れて頂けたようです。大学で研究されている“現象”あるいは“材料”が、日頃の生活の中でどのように機能しているかを目で見て直感的、感覚的に理解できるこの試みは、親子連れで来た方々(特にお子さん)にも楽しんでいただけたようです。上記のリニアモーターカーの作動実験では、レール上を浮遊した状態で滑走する車の模型を見た子供は純粋に喜び、大人の方々はその不思議さに目を見張るといった様子でした。簡単な実験を通してわかりやすく研究に触れることのできる場合は、一見難しい研究ばかりしているようなイメージのある大学をより身近に感じさせ、現在、加速している理系離れを終息させるものとして大いに意義のあることであり、大学祭にふさわしい企画といえるでしょう。

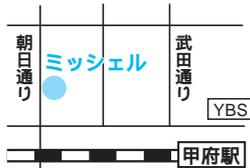
学生が作る大学祭。自分たちが駆け抜けている時代を反映し、だからこそ大学祭も移り変わるものです。今年も皆さん一人一人が主役です!! 若いみずみずしい感性を総動員した大学祭を期待します。

(甲府キャンパス編その2)

パスタもケーキもおいしいお店 ~ ミッシェル ~



甲府駅北口から西に歩いて5分の朝日通りにある、こごんまりした落ち着いた雰囲気のお店です。パスタやピザなどイタリアン中心の料理の他、毎日お店で焼かれる手作りのケーキが楽しめます。パスタもケーキもメニューがバラエティーに富んでいます。新登場の「山の幸のスープパスタ」は、みそと酒かすを使ってほうとう風に仕上げられたユニークな一品です。しっとりふわふわの「紅茶のシフォンケーキ」は、女性に広く支持されているようです。ランチタイム(11:30am~1:30pm、日曜・祝日を除く)には、パスタを注文すれば、フォカッチャと呼ばれるパンとコーヒーが付きます(お替り自由)。このフォカッチャも自家製で、カステラのように柔らかくしっとりしていて、印象に残る逸品です。



[住所] 〒400-0025 甲府市朝日1丁目5-2
[TEL] 055-254-7060
[FAX] 055-254-7050
[営業時間] 11:00~21:00(ラストオーダー)
[定休日] 水曜日 駐車場有り

(玉穂キャンパス編その2)

欧風カレーのお店 ~ 百家 MOMOYA 家 ~



玉穂キャンパスから車で10分位のところにある、落ち着いたくつろげる雰囲気を持ったお店です。

欧風の自慢のカレーは、仕込みに5日間を費やすというとてもまろやかで、やや甘口です。しかし、大半を食べ終える頃に、じわーと辛さが忍びよってくる不思議な味わいをもっています。特に人気のメニューは、チーズカレー(下の写真)でスープが付いてきます。カレー好きの方には、是非、一度召し上がって頂きたい味です。カウンター席もあって、一人でも気軽に入れます。

ランチタイムは、やや安くなってチーズカレー、ベジタブル・カレーが1,000円以下で食べられます。



[住所] 〒400-0116 甲斐市竜王町玉川254-2
[TEL] 055-276-6665
[営業時間] 11:30~14:00(13:45ラストオーダー)
18:00~21:00(ラストオーダー)
[定休日] 毎水曜日(祝日の場合、翌日休)
[予約] 4名様以上の場合
[アクセス] 昭和ICよりR20、昭和通り経由、飯喰交差点右折、竜王方面

大学周辺の 気になるお店

突撃インタビュー!!

甲府キャンパス

守衛長の山本一さんにお話を伺いました。
1月11日に守衛室で取材させていただきました。



Q: 守衛室は休日にも開いていますか？ お休みや人の交代などはどうされているのですか？

A: 守衛室は365日開いています。平日の8時30分から17時15分までは私が仕事を行っています。土・日、夜間は外部の警備会社に頼んでそちらの社員にお願いしています。

Q: 守衛さんは普段どんなお仕事をされているのですか？

A: 車で来校された一般の方に車のパスカードを貸し出し、夕方4時ごろに来校した台数をまとめます。来校する車は一日にだいたい80から90台ですね。また、学内の火災報知器・エレベーターの管理をしています。火災報知器は各部署に取り付けてあるので、異常が起きた場合は行って確認し、セコムに連絡します。エレベーターは非常ボタンを押すとこちらの守衛室につながりますので、こちらで対応します。あとは鍵の貸し出しと夜間の構内の巡回を警備員が行います。鍵の貸し出しは17時から9時の間は守衛室で行っています。巡回は19時から0時の間と5時から6時の間に行い、その間は仮眠をとったりしています。

Q: 学生の様子を見ていて何か感じることはありますか？

A: 守衛室のすぐ隣が自転車・バイクの駐輪場になっていますが、駐輪の仕方があまりよくないですね。時には人も通れない程にとめてあることもあります。また、教育人間科学部と工学部の間の信

号を、赤でもわたってしまう学生が多いので、そういうことは無くなるとういなあとと思います。あとは、生協の前や噴水の周りでベンチに土足のまま上ったり、空き缶やタバコの吸殻を散らかしたままにしたり、というのが目に付きます。もう少しマナーを守って生活できるとういんですね。

Q: こちらでの勤務は長いのですか？

A: 採用されたのは昭和46年です。守衛室に勤務するようになって13年になります。

Q: 長い間大学を見てこられて、学校や学生の様子は変わったと思いますか？

A: 建物は変わりました。J号館は木造2階建てでしたし、昔は今の事務局の所には生協があって、今の生協の所は駐車場になっていました。10年ほど前までは車の出入りも自由でしたからね。学生の様子はあまり変わらないと思いますよ。

Q: 学生への要望はありますか？

A: 夜遅くに教室で騒いでいることがあるので、時間を守り、警備員が来たら言うことを聞いてほしいですね。宜しくお願いします。今回は突然のインタビューにも関わらず、快く引き受けてくださって本当にありがとうございました。また、山本さんは定年のため今年度をもって退職なさるそうです。長い間本当にありがとうございました。

玉穂キャンパス

今回は山梨大学附属図書館分館で働いている方々にお話を伺おうということで、新年早々1月5日に取材をさせていただきました。取材に協力してくださったのは、リーダーの藤田洋さん、司書の金丸芳美さん、富士美江子さんです。



Q: 人員構成はどうなっていますか？

A: 7人です。今年度から法人化により医学情報グループという新組織になりました。

Q: 分館の詳しい利用・蔵書状況はどのようなものですか？

A: いずれも平成15年度の統計で、入館者数が126,499人、館外貸出冊数が14,978冊、蔵書数が平成16年3月31日現在で図書94,385冊、雑誌3,184種です。

Q: 司書さんのお仕事ってどんなものなのですか？

A: 日常業務(図書・雑誌の選定や購入、製本、文献検索)や書籍の移動、整理です。学生のみなさんの目に付かないところでの裏方的な業務がけっこう多いですよ。

Q: 学生の利用態度はどうですか？

A: 全般的に良いと思いますよ。国試直前は特に真剣でピリっとした雰囲気が漲っていて、こちらもとても気を使います。ただ、飲食に関してはもう少しきちんとして欲しいですね。書籍が汚れたらお互いに困りますし、今のいい利用状況を維持するためにも。

Q: 仕事をしていて悩むこと、困ることはありますか？

A: 予算が厳しいですね。新しい書籍はどんどん出てきますし、買いたいものはいくらでもあるんですが…。特に医学系の書籍は日進月歩なうえに価格が高いので本当に大変です。建物などもきれいにできたらいいですね(笑)

Q: では逆に、仕事をしていてうれしいこと、充実感を覚えることはありますか？

A: 要望に応じて満足いく回答ができて感謝をされた時、資料をきっちり揃えられた時などはうれしいですね。必要とされている、頼りにされている、と感じるときが最高です。

Q: 今昔で学生の気質に変化はありますか？

A: よく勉強していることに変わりはないですね。今昔で変わるというよりも、最上級生の雰囲気が決まるかもしれません。一番良く図書館を利用するのは最上級生ですから、その人たちが真面目だと下の学年もなんとなく真面目になるし、逆に不真面目だとつられて不真面目になるのかなあ、なんて思ったりもしています。

Q: 最後に、学生への要望は何かありますか？

A: とにかくマナーを守っていただければ言うことはありません。それと図書館の企画をもっと積極的にのぞいてほしいですね。あと、もっと意見を出して欲しいかな。どんな本が欲しいか、カウンターにあるリクエストボックスにどんどん希望を出してください。

図書館職員の業務や利用状況など、現場ならではの興味深い話をいろいろと伺うことができました。取材直後にも会議があるという多忙な中取材と撮影に時間を割いてくださった職員の皆様、どうもありがとうございました。

甲府キャンパス

「ユースホステル部」

旅を通じて強い絆を



伊達歴史村にて

ユースホステルとは、1909年ドイツで生まれた、誰もが安心して利用できる経済的な宿です。今は世界80カ国にユースホステル協会があります。日本でも約350の施設があり、会員なら2,000円から

3,000円の間で宿泊することができます。

山梨大学のユースホステル部は旅行を活動の柱としています。50年近く前に結成された歴史のあるサークルです。部室は体育館の横

上に渡る長期旅行まで様々な旅行が楽しめます。ちなみに、大学祭には模擬店も出しています。

なかでも、夏休みを利用して行われる旅行がもっとも大きく、一番印象に残る旅行となっています。近年では、北海道、九州、沖縄、タイ、韓国などに行っています。最近行った北海道旅行は多くの部員の心に残る旅行になりました。1年生にとっては初めての大きな旅行ですし、3年生と一緒に行く最後の旅行でもあったからです。美しい函館の夜景、おいしい食べ物など、楽しいことがたくさんありました。函館空港では偶然、料理人の周富徳さんに会い、一緒に写真を撮ってもらったりもしました。また、伊達歴史村(日光江戸村のようなもの)に行った時には3年生の部員が舞台に出演する出来事もあり、本当に楽しかったです。



夏のキャンプ

にある部室棟にあります。毎週火曜日と金曜日の5時から部会を行い、旅行計画について話合っています。部員数7人という小さいサークルです。1年生から3年生までが現役の部員となりますが、今は、3年生が引退し、2年生が最上級生となったばかりです。しかし、部員の少ないサークルだからこそ結束も強く、皆とても仲が良かったです。一人一人と深く付き合っていけるのが良い点です。

旅行がメインのサークルなので旅行を通じて強い絆を築けます。春には新入生歓迎旅行、夏休みにはキャンプや大きい旅行、秋には紅葉ドライブ、冬にはウィンタースポーツ旅行が行われます。企画次第で日帰りの旅行から3泊以

長期休暇は学生時代にしかなく、その長期休暇を利用し仲間と楽しく旅行できるユースホステル部。他ではできない体験をしてみませんか？

学生代表：武藤由香里
(工学部循環システム工学科2年)



北海道旅行

北海道の草原



「馬術部」



創部10周年記念パーティーにて

馬に乗って飛ぶ

山梨大学馬術部は1994年4月に山梨医科大学馬術部として創部し、2002年10月に山梨医科大学と山梨大学が統合して新生山梨大学となったのを機に、山梨大学馬術部と改め、本格的に全学での活動を開始しました。普段の活動は、ハヶ岳山麓の小淵沢にある山梨県馬術競技場で行っています。指導者にも施設にも恵まれ、馬術に触れるにはこの上ない環境です。

馬術とは、馬に乗って障害(しょうがい)を飛んで高さや正確さを競ったり、決められた演技をしてフィギュアスケートの芸術点のように美しさを追求したりするスポーツで、私たち馬術部では障害飛越の練習が主な活動です。とはいっても、現在いる部員の全員が入部した段階では馬に乗ったことはありませんでした。だから、新しい部員が入るとまずは馬に親しむところから始まります。実際に馬にまたがり、世話をすることを通して馬を好きになることが馬術への第一歩といえるでしょう(実際、部員たちはみんな馬が大好きです!!)。初めてのときは横から人に引いてもらいますが、だんだん一人で馬を歩かせられるようになってきます。こうなれば、次は走る練習です。徐々に回数を重ね、軽快な速歩(はやあし)や颯爽



試合のときは正装で



馬とも仲良し

とした駆足(かけあし)が自分の指示でコントロールできるようになると、いよいよ障害飛越の練習が始まります。最初は地面に置いたバ

ーをまたげるように、その後は低い障害をだんだん高くして行って「馬に乗って飛ぶ」ということに慣れていきます。

こうしてみるとなんだか大変な活動をしているようですが、どの部員もみな自分のペースで練習し、4月に入部した1年生も早ければ6月には初障害を飛び、夏には試合にも出ています。

このような活動の成果として今年度の大会でも、全日本医歯薬学生馬術連盟の定期戦(団体戦)個人戦の優勝、東日本医科学生総合体育大会馬術部門・個人戦、馬場戦、団体総合での優勝など、優秀な成績を修めることができました。とてもアットホームで和やかな部ですので、「馬術をやってみたい!!」という方も「動物が好き!!」という方も、是非馬術部に遊びに来て下さい!!!

学生代表：立花奈緒(医学部医学科3年)

顧問教員：藤井秀樹(医学部第1外科学教室教授)

女子学生
必読

あなたは誘拐された!!

「娘は、娘は大学にいますかー」
「娘の 〇〇〇〇を早く、早く探して
ください。」電話の声は切羽詰って
一刻を争う危機感がありました。

こちらからの「あなたはお母さんですか、どう
なされたのですか？」との問いにも応えず「それ
より、娘はいるのですか！ いないのですか！」
と必死な声が続く。

あなたの実家に「娘はあずかった。金を振り込ま
なければ命はない」という脅迫電話があったとした
ら・・・、あなたのお母さんは必死にあなたの所在を
確認しようとするはずです。奈良の小学生連れ去り
殺人以降、殺されるかもしれないという不安感を煽
って金銭の振込みを強要する事例が多発し、女子大
生を持つ家庭もターゲットとなっています。

この時、もしあなたへの携帯電話が通じなかつた
ら、大学に問い合わせても所在が確認できなかった

ら、振込指定時刻までの短い時間のなかで、あなた
の家族は、あなたの想像をはるかに超える計り知れ
ない不安と恐怖感の中に置かれてしまいます。それ
は、たとえ『振り込め詐欺』が頭のどこかにあったと
してもです。本学においてもすでに何件かの事例が
発生していますが、幸い誘拐されたはずの当人が授
業中などで大学内ですぐに所在が確認できたため、
実害を防ぐことができました。しかし、そういう偶然
がいつもあるとは限りません。

詐欺から自身や家族を守るには専守防衛しかあ
りません。あなたは、家族がこのような卑劣な行
為により、精神的苦痛や金銭の被害に遭わないよ
うにするために、普段から家族と話し合い自分の
行動範囲なども出来る限り知らせておくことが大
切です。また、アパートや電話番号に変更があつ
た場合は、速やかに大学（学務部教務課）に届け
出ておきましょう。

男子学生
必読

この電話、オレオレ詐欺？

「息子さんが交通事故に遭い
ました」こんな電話を受けたら、
誰しもまず「オレオレ詐欺」かなと
思うことでしょう。「もしもし、山梨大学
ですが、今息子さんの 〇〇〇君が交通事故に遭い救
急車で病院に搬送されました。」「・・・そうす
か・・・」お母さんは妙に冷静です。そうですね、
言葉以外に「オレオレ詐欺」ではないと証明する
手立てがないのですから・・・。今の世の中、むし
ろ家族が詐欺への防御姿勢を持つことが大切なこ
とかもしれません。このような場合は、やはり大
学に電話を掛け直すことが最良の方法だろうと思

われますので、特にバイクや車を運転するあなた
は、家族に必ず大学の電話番号を知らせておくこ
とが必要です。

《055-220-8051・8052(学生支援課)》

そして、それよりも一番大事なことは、あなた
が交通事故に遭わないことです。公共交通機関の
発展していない山梨で、バイクや車に乗るなどは
言えませんが、あなたが交通事故に遭ったとき、
その報を聞いた家族は、遠ければ何百キロもの道
を、深夜であろうと雨天であろうと、命に別状が
ないことを祈りながら駆けつけて来るのです。そ
のことを肝に銘じて運転してください。

平成17年度の授業料について(お知らせ)

平成17年度の山梨大学授業料は次のとおり改定になります。
この改定については、国立大学の授業料標準額が改定されたことに伴い、授業料改定分の増収見込み約6,600万円が本学予算として配分されないこと更に大学に配分される基盤経費に効率化係数1%がかせられ毎年約7,500万円減らされることを考えると、学生サービスの質を低下させないためにも、平成17年度の授業料を改定せざるを得ないと判断しました。
今後も、修学環境の整備を始め、学生サービス向上のために最大限の努力をするつもりでありますので、今回改定せざるを得ない事情をご理解ください。
授業料の納入は、4月末日の納入期限までに前期分の授業料を納めてください。
なお、平成17年度入学生は、後期の授業料納入額が異なりますので、注意してください。

平成11年度～17年度入学者

大学学部・大学院・・・・・・・・・・年額 535,800円(半期267,900円)
特殊教育特別専攻科・・・・・・・・・・年額 273,900円(半期136,950円)

平成10年度以前の入学者については、従前どおりです。

保護者への修得単位通知書の送付

平成17年度より、学生への充実した修学指導の一環として個々の学生の修学状況を保護者にお知らせし、大学が保護者と連携して学生への指導助言を行うことになりました。すでに、学生、保護者の皆さんには、昨年度末に文書によりお知らせしましたが、2年次生から各学年の6月に、前年度までの修学状況(「修得単位通知書」)を保護者あてに郵送します。
なお、保護者または学生が「修得単位通知書」の送付を希望しない場合は、5月13日(金)までに「保護者への修得単位通知書送付辞退届」を教務課または、医学部学務課の各窓口に提出してください。

学務部関係 平成17年度前期行事予定

定期健康診断及び体力測定	4月 1日(金)～15日(金)
通年・前期授業科目履修申告(在学学生)	4月 7日(木)～ 8日(金)
入学式	4月 8日(金)
前期授業開始	4月11日(月)
日本学生支援機構(旧日本育英会)奨学生説明会	4月11日(月)
通年・前期授業科目履修申告(新入生)	4月11日(月)～12日(火)
前期分授業料納付期限	4月末日
前期試験	7月25日(月)～8月 5日(金)
夏季休業	8月 6日(土)～9月30日(金)

新入生は、初めての履修申告ですが、履修申告の手続きを怠りますと、授業を受講しても単位を修得することはできません。また、共通科目については、申告し、確定した科目を変更することはできませんので、シラバスの内容をよく確認し、慎重に選択してください。履修申告に関する詳細な日程については、CIS(電子掲示板)で確認してください。

編集後記

冬の熟成期間を経て、春の訪れとともにvine第5号が完成しました。ぜひご賞味ください。

今回は、学生委員の意見を尊重し、両キャンパスが最も賑わうイベント「大学祭」を特集しました。医学祭と梨甲祭、それぞれの特色が伝わるような記事作りに努めましたが、その他の記事も含め、いかがだったでしょうか。取材にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

ところで、学園誌専門委員会は性格上、テレビ会議による意見交換が困難なため、何度も両キャンパスを往来しながら、開催しています。専門分野が異なる編集委員との打ち合わせ、新年会?など、新鮮な気分が味わえます。

春は出会いのシーズンですね。一期一会を大切に...

山梨大学学園誌vine第5号

発行日 平成17年3月25日
編集・発行 山梨大学学園誌専門委員会
編集委員 河口洋光・金 基成・小島千か
島崎洋一・馬場 健・松岡幹就
米崎攻紀・渡邊タミ子
(学生委員) 大槻正孝・香川祥子・澤田奈々
武井志織・裴 有安・堀内真美子
武藤由香里・渡辺陽子
表紙制作 大学院教育学研究科 美術教育専修1年 菊島美香
本誌へのご意見・ご感想につきましては下記までお寄せください。

山梨大学学務部教務課
〒400-8510 山梨県甲府市武田4丁目4-37
E-mail : gakusei@akjim.yamanashi.ac.jp

ヴァインの泉

～素晴らしきナシダイ知識～

山梨大学に関する素晴らしい知識を紹介します。
読者のみなさん、「へえ～」の甲州弁？、「てっ！」で評価してください。

No. 4 投稿者：山梨県 ペンネーム EZFさん（47才）

財務管理部の山宮浩さんは、「ヴァンフォーレ甲府」に所属していた。

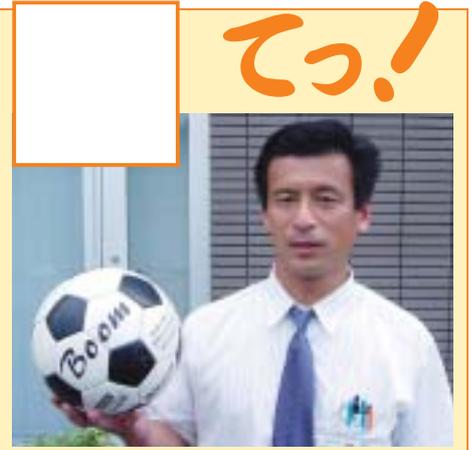
[実際に本人に聞いてみた...]

はい。高校卒業後の1981年4月、前身の甲府クラブに入部しました。当時、月額1000円の部費が払えず、リーグ初戦の富士通戦がベンチだったことにも腹が立ち、その後の練習はさぼりがちでした。結局、1年後に退部しました。

サッカーは、小学校4年から始めて33年になりますが、今でも楽しいですよ。

[補足ヴァイン1] 高校3年の時、アジアユースアンダー19の第3次合宿に参加し、読売クラブの都並敏史さんと競い合い、練習後、検見川駅前で熱く語り合った思い出がある。

[補足ヴァイン2] 現在は、山梨大学教職員サッカー部のキャプテンを務めている。腰痛を抱えながら、ここの一番では頼りになる存在らしい。



No. 5 投稿者：山梨県 ペンネーム でん太さん（50才）

ぶどうの種を切断すると、山梨大学の「山」の字が現れる。

[工学部ワイン科学研究センターの奥田さんに問い合わせしてみた...]

はい。私も知りませんでした。早速、試してみましたが、確かに「山」の字が現れますね。すごい発見です。ちなみに、ブドウから作られるワインには、ポリフェノール類が豊富にあります。これらのポリフェノール類の大部分は、この「種子」に含まれています。一方、私たちが食べる「果肉」の部分には、あまり含まれていません。したがって、ブドウを食べる時に種を出してしまえば、大事な栄養を捨てていることになります。

昔から山梨県の人々は、ブドウを食べる時に種を飲み込んでしまうそうです。種を出さない理由は、「出すと酸っぱくなる」、「たくさん食べるので、出すのが面倒くさい」などの諸説があるようですが、これは、健康維持のための「生活の知恵」なのかもしれませんね。



No. 6 投稿者：長野県 ペンネーム カスケードさん（34才）

大学統合により、公用車の一台はグロリアから「エスティマ」になった。

[総務部の竹内さんに問い合わせしてみた...]

はい。確かに旧山梨大学と旧山梨医科大学の統合に伴い、紺のグロリアを廃車にし、大勢が乗れるシルバーのエスティマを納車しました。ちなみに、山梨大学の公用車は、甲府キャンパスに5台、玉穂キャンパスに9台あります。その中には、エルブランドを改造した8ナンバー、献体車と患者搬送車も含まれています。また、文部科学省のお達しもあり、ハイブリッドカーであるプリウスが両キャンパスに1台ずつあります。

[補足ヴァイン1] 2004年9月、工学部循環システム工学科の島崎研究室では、エネルギー教育のために、1人乗り電気自動車を購入した。現在、試乗キャンペーンを実施中である。

[補足ヴァイン2] 総務部の竹内さんは、元ヴァンフォーレ甲府の応援団旗持ちである。

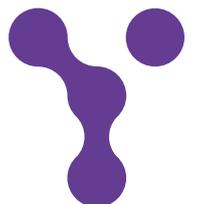


あなたが知っている「ナシダイ知識」を教えてください。編集委員が検証します。応募先は以下のとおりです。

E-mail: gakusei@akjim.yamanashi.ac.jp

学園誌の名称「ヴァイン」に込める意味

原義は「ぶどうのつる」ですが、転じて「(うわさなどの)伝達路、情報網、口コミ」なども意味します。山梨県および山梨大学のシンボルであるブドウ(のつる)に託し、公式情報のツールとしてだけでなく、キャンパスの現在(いま)を伝える媒介であれ、との願いを込めました。



UNIVERSITY
OF
YAMANASHI